

全九中常任幹事会提案用
(R8. 1. 30)

第77回全九州中学校長研究大会
鹿児島大会のご案内

令和8年度
第77回 全九州中学校長研究大会
鹿児島大会 開催要項 (案)

MYOSHIDOME

開催日/令和8年8月26日(水)、27日(木)、28日(金)

会場/城山ホテル鹿児島(鹿児島市新照院町41-1)

- | | | |
|----------|------|----------|
| ・常任幹事会 | 4階 | アイリス |
| ・大会運営連絡会 | 5階 | ルビー |
| ・全体会 | 4階 | エメラルドホール |
| ・分科会1~6 | 各6会場 | |

主催/全九州中学校長協議会 鹿児島県中学校長会

令和8年4月1日

九州各県中学校長 様

第77回全九州中学校長研究大会
鹿児島大会実行委員会

第77回全九州中学校長研究大会 鹿児島大会の御案内

陽春の候、会員の皆様におかれましては、学校経営に御精励のことと拝察いたします。

さて、第77回大会は、三つの世界遺産、黒牛や黒豚などの豊かな食、歴史・文化、優れた県産品をもつ「南の宝箱 鹿児島」で開催いたします。

そして、まちや人がもつ“熱量”、この熱量の下、「食・温泉・歴史・自然・人の温もり」などの資源が魅力の「マグマシティ鹿児島市」が会場となります。眼前に雄大に広がる錦江湾と桜島が皆様のおいでを心待ちいたしております。

全九州中学校長研究大会は、令和7年度第76回熊本大会の大会主題「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の造り手を育てる中学校教育」を引き継ぎ、研究を進めてまいりました。

本大会では、これまでの研究の成果を踏まえ、全九州中学校長の英知を結集し、主題に迫る協議がなされ、中学校教育のさらなる充実・発展に寄与したいと考えます。

つきましては、第77回全九州中学校長研究大会鹿児島大会に御参加いただきますよう、ここに御案内申し上げます。

〈 事務連絡 〉

- 1 座席は、1日目、2日目ともに全体会は各県別に指定しています。1日目の分科会は座席を指定しています。(座席図は会場にてお示しします。)
- 2 服装はクールビズ(ノーネクタイ・上着なし)とします。登壇される方は、上着着用(ノーネクタイ)をお願いします。全日中バッジを付けてください。
- 3 各自、名刺を10枚程度、御持参ください。分科会でのグループ討議の前に名刺交換を行います。
- 4 その他、同封の全九中鹿児島大会に参加される皆様へ(お知らせとお願い)を御確認ください。

〈 目 次 〉

1	大会主題	2	趣旨	3	主催	4	共催	5	後援	6	期日	
7	会場	8	日程									1
9	大会日程及び会順											2
10	分科会の研究主題及び協議題											3
11	分科会の趣旨											4
12	記念講演											7
13	参加者の割当について	14	全体会・分科等会場について									8
15	参加費	16	参加申込	17	宿泊について						9	
18	会場へのアクセス											10

令和8年度 第77回全九州中学校長研究大会鹿児島大会開催要項

1 大会主題

「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育」

2 趣 旨

国内外における不確実性が高まり、従来の政治経済等の秩序が変動する中でも、幸福な生涯を実現するために人生を主体的に切り拓く力を育成することが求められている。また、知識基盤社会が進展し、科学技術の発展や生成AIの急速な台頭等により社会の未来像が大きく変化していく中で、持続可能な社会の創り手を育てていくために、教育の果たすべき役割・使命は極めて大きいものがある。そのために、自分の夢や希望の実現に向けて挑戦するたくましい生徒を育成し、社会の一員としての自覚と責任感を育み、21世紀をたくましく生き抜く原動力となる確かな学力、豊かな心、健やかな体など「生きる力」を調和的に育成することは、学校教育の責務である。

我々、中学校長は、これらの重要な責務を担う学校の最高責任者としての使命を自覚し、先見性と確かな教育理念に基づく学校経営ビジョンを構想する必要がある。さらに、学校経営に当たっては、リーダーシップを柔軟に発揮し、創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成・実施・評価・改善及びその公表等を行い、保護者や地域の期待と信託に応えなければならない。本研究大会は、これまでの各県における研究を基盤とし、九州の中学校長の総意を結集し、主題に迫る具体的な学校経営の在り方を校長の立場で究明して、学校教育の充実・発展を図ろうとするものである。

3 主 催 全九州中学校長協議会 鹿児島県中学校長会

4 共 催 一般財団法人鹿児島県校長会館

5 後 援 全日本中学校長会 鹿児島県教育委員会 鹿児島市町村教育委員会連絡協議会
鹿児島市教育委員会 鹿児島県連合校長協会

6 期 日 令和8年8月26日（水）、27日（木）、28日（金）

7 会 場 城山ホテル鹿児島（〒890-8568鹿児島県鹿児島市新照院町41-1 TEL099-224-2211）

8 日 程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
26日 (水)							受 付 30	常 任 幹 事 会 50	移動・休憩	大連 会絡 運 会 営 90
27日 (木)	受 付	開 会 式 55	移動・休憩	全 体 会 I 50	昼 食 85	分 科 会 200				
28日 (金)	受 付 30	全 体 会 II 20	記 念 講 演 90	閉 会 式 20						

9 大会日程及び会順

8月26日(水)			8月27日(木)			8月28日(金)			
時間	行事	内容・会場	時間	行事	内容・会場	時間	行事	内容・会場	
			9:00 (30分)	受付	城山ホテル鹿児島 (4F エメラルドホール前)	9:00 (30分)	受付	城山ホテル鹿児島 (4F エメラルドホール前)	
			9:30	開 会 式 (55分)	(4F エメラルドホール) 1 開式のことば 2 国歌斉唱 3 あいさつ ・ 大会会長 ・ 全日申金長 4 祝辞 ・ 鹿児島県知事 ・ 鹿児島市長 5 来賓紹介・祝電披露 6 感謝状贈呈 7 謝辞 8 開式のことば ※ 日程説明	9:30	全 体 会 員 (15分)	(4F エメラルドホール) 大会宣言文報告	
		10:25	10:25		全 体 会 員 I (50分)	1 全日中報告 ・ 説明 ・ 質疑 2 研究主題説明 ・ 趣意 ・ 分科会討議		9:45	記 念 講 演 (90分)
		10:35	11:25			11:25	11:15	11:20	
		11:25	11:25		移動・昼食 (85分)	会場移動 昼食	11:40		
			12:50	分 科 会 (200分)	◇ 第1分科会 (2F クリスタルガーデンA) ◇ 第2分科会 (2F クリスタルガーデンB) ◇ 第3分科会 (4F レインボー) ◇ 第4分科会 (2F アメジスト) ◇ 第5分科会 (4F パール) ◇ 第6分科会 (5F ルビー) ※ 分科会ごとに解散				
14:00 (30分)	受付	城山ホテル鹿児島 (4F アイリス入口)	14:30		常 任 幹 事 会 (50分)	(4F アイリス) 1 開会のことば 2 会長あいさつ 3 役員紹介 4 協議 5 その他 6 開会のことば			
15:20	大 会 運 営 連 絡 会 (90分)	(5F ルビー) 1 開会のことば 2 会長あいさつ 3 全体説明 ・ 全体会 ・ 全体協議会 ・ 分科会 4 分科会別打合せ 5 その他 6 開会のことば	16:10						
17:00									

10 分科会の研究主題及び協議題

分科会	研究主題	協議題	担当県
第1分科会	「カリキュラムマネジメント」の推進	(1) 学習指導要領に基づく教育課程の実施状況を把握し、学習効果の最大化を図るための工夫	鹿児島
		(2) 新しい時代に求められる資質・能力を育成していくための教科等横断的な教育課程の編成・実施・評価・改善	沖縄
第2分科会	「主体的・対話的で深い学び」の実現	(1) 教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせて「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善の工夫	佐賀
		(2) 全ての学習の基盤となる言語能力や情報活用能力、問題を発見し決する能力の向上	福岡
第3分科会	よりよく生きようとする道徳教育と、健康で豊かな生活を実現するための教育の充実	(1) 道徳的価値についての理解と道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成	宮崎
		(2) 生涯にわたる豊かな生活を実現していく資質・能力の育成と体力の向上	熊本
第4分科会	一人一人のキャリア教育・進路指導と自己指導能力を育成する生徒指導の充実	(1) 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成する系統的なキャリア教育の充実	大分
		(2) 好ましい人間関係を築き、他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する学校教育の在り方	佐賀
第5分科会	「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成	(1) 生徒や保護者、地域の信頼に応えられる教師の育成と「新たな学びの姿」を実現する研修の在り方	宮崎
		(2) 教科等の専門性と指導力、及びICT活用指導力を含めた新たな課題に対応できる力量を高める人材育成と研修の在り方	福岡
第6分科会	学校と地域の連携・協働による「チーム学校」と「働き方改革」の実現	(1) 教職員や多様な人材の専門性を活用し、組織力を高める学校経営の在り方	長崎
		(2) チームとしての学校と地域の連携・協働体制の在り方	大分

11 分科会の趣旨

(1) 第1分科会 「カリキュラムマネジメント」の推進 (担当：鹿児島・沖縄)

未知の状況に対応し、新たな時代を切り拓く生徒を育成するためには、よりよい社会を形成するという目標を社会と共有し、社会と連携・協働しながら育成していくカリキュラムマネジメントが求められている。

そのためには、各学校が創意工夫を生かした特色ある教育課程を編成・実施・評価し、充実した教育活動を展開することが重要である。また、確かな学力の向上や生徒の主体性を伸ばすためには、学習指導要領に基づく教育課程の実施状況を的確に把握し、学習効果を最大化する工夫、教科横断的な教育課程の編成・実施・評価の改善を講じる必要がある。

協議題1 学習指導要領に基づく教育課程の実施状況を把握し、学習効果の最大化を図るための工夫

協議題2 新しい時代に求められる資質・能力を育成していくための教科等横断的な教育課程の編成・実施・評価・改善

(2) 第2分科会 「主体的・対話的で深い学び」の実現 (担当：佐賀・福岡)

生涯にわたって能動的に学び続ける生徒を育成するために、学校現場においては、自ら学び、対話を通じて理解を深め、単なる知識の習得のみにとどまらず、実際に活用できる能力を身に付ける学びを実現させることが求められている。

そのためには、教職員の意識改革と協力体制の構築が重要である。校長が教職員に対して新しい教育方法を試みることを奨励し、成功事例を共有する場を設けて教職員のモチベーションを高めたり、クロスカリキュラムの視点を大切にして、組織的な取組を通して言語能力や情報活用能力などを向上させたりするための研究を深める必要がある。

協議題1 教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせて「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善の工夫

協議題2 全ての学習の基盤となる言語能力や情報活用能力、問題を発見し決する能力の向上

(3) 第3分科会 よりよく生きようとする道徳教育と、健康で豊かな生活を実現するための教育の充実 (担当：宮崎・熊本)

他者への共感や寛容性、更には多様性を尊重する態度、人間関係を築く力、異なる考えの人々と議論を重ねながら問題を解決していく力を育成するなどの、よりよく生きようとする道徳的実践力を高める道徳教育の充実が求められている。

そのためには、学校は「特別の教科道徳」の時間の充実に図るとともに、豊かな自然体験や社会体験等の活動を取り入れ、すべての教育活動を通して道徳的価値に基づいた人間としての生き方についての自覚を深めさせる必要がある。

また、生徒の体力の状況についてはゆるやかな向上傾向にあるが、運動機会の減少や運動習慣の二極化、生活習慣の変化などが体力水準の低下へ影響を及ぼしている。運動機会を確保しながら体力の向上に努めるとともに、良好な生活習慣が形成されるよう食育や健康・安全等に必要な資質や能力を育て、心身の調和のとれた発達を図るなど、健康で豊かな生活を実現する基礎を培うために、学校・家庭・地域が一体となった取組がなされるよう研究を深める必要がある。

協議題1 道徳的価値についての理解と道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成

協議題2 生涯にわたる豊かな生活を実現していく資質・能力の育成と体力の向上

(4) 第4分科会 一人一人のキャリア教育・進路指導と自己指導能力を育成する生徒指導の充実 (担当：大分・佐賀)

産業構造や就業構造の変化に伴い、義務教育修了段階の生徒に「基礎的・汎用的能力」を育成するキャリア教育が求められている。また、多様化が進む中で、個別の困難や課題に向き合い、「個性の発見とよさや可能性の伸長、社会的資質・能力の発達」に資する生徒指導を展開することや、いじめ防止対策や不登校児童生徒への対応が求められている。

そのためには、キャリア教育においては、自己理解と自己管理能力の育成・人間関係形成・社会形成能力の育成・課題対応能力の育成・キャリアプランニング能力の育成を通じて、生徒たちが将来の進路選択や職業選択において自分自身の意志と責任で決定できる能力を向上させることが重要である。また、生徒指導においては、自己指導力の育成、社会的スキルの向上、問題解決能力の育成、自己存在感の確立、共感的関係の構築を図り、生徒たちが学校生活をより充実させ将来の社会生活においても成功する基盤を築くことができる能力を向上させるための研究を深める必要がある。

協議題1 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成する系統的なキャリア教育の充実

協議題2 好ましい人間関係を築き、他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する学校教育の在り方

(5) 第5分科会 「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成（担当：宮崎・福岡）

教師は、教職生涯を通じて新しい知識・技能等を効率的・効果的に学び続け、子供一人一人の学びを最大限に引き出す役割を果たすこと重要である。また、学校には、多様な人材を教育界内外から確保し、教師の資質能力の向上を図りながら質の高い教職員集団を形成することにより、「令和の日本型学校教育」の実現を目指すことが求められている。

そのためには、変化し続ける社会や学校現場に対応できるような教員一人一人の力量を高めていくことはもとより、学校がチームとして組織的に諸課題に対応できる力を追究し、それらの向上に資する継続的かつ効果的な研修のための体制はどうあればよいか、研究を深める必要がある。

協議題1 生徒や保護者、地域の信頼に応えられる教師の育成と「新たな学びの姿」を実現する研修の在り方

協議題2 教科等の専門性と指導力、及びICT活用指導力を含めた新たな課題に対応できる力量を高める人材育成と研修の在り方

(6) 第6分科会 学校と地域の連携・協働による「チーム学校」と「働き方改革」の実現（担当：長崎・大分）

学校において、それぞれの教育の目標が達成されるためには、学校や教職員がその役割を十分に果たし、信頼される学校づくりを進める必要がある。また、地方創世の観点から、次世代の学校として地域を活性化していくことが不可欠であるとの考えから、地域とともにある学校づくりが求められている。さらに、これらの教育を円滑に進めていくためには、指導者である教師自身が、心理的安全性が保たれ、より良い労働環境にあることが大切である。

そのために、校長は、教職員や地域の専門性を活かし、組織力を高める学校経営の方法を議論する必要がある。また、学校と地域が一体となって教育活動を展開するための連携・協働体制の確立も重要である。このように、校長は学校の最高責任者として、的確な判断と決断を行い、教職員や家庭、地域社会と連携・協働してリーダーシップを発揮し、学校組織を効果的にマネジメントすることが求められる。

協議題1 教職員や多様な人材の専門性を活用し、組織力を高める学校経営の在り方

協議題2 チームとしての学校と地域の連携・協働体制の在り方

12 記念講演

演 題 「 」

講 師 ANAホールディングス株式会社

代表取締役社長

芝田 浩二 氏



◆ 経 歴

- 1957年 鹿児島県大島郡瀬戸内町加計呂麻島生まれ。
- 1976年 鹿児島県立甲南高等学校卒業後、東京外国語大学入学
- 1982年 東京外国語大学卒業後、全日本空輸株式会社に入社。
入社2年目に営業本部国際部に入る。
- 2023年～ 現職

13 参加者の割当について

県名	会員数	参加者割当数	分科会参加者						計	分科会(再掲)		大会宣言文 起草委員(再掲)
			第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会	第5分科会	第6分科会		提案者	司会者	
長崎	145	71	11	11	12	11	12	14	71	1	1	1
佐賀	83	40	6	8	6	9	6	5	40	2	2	1
福岡	326	160	26	29	26	26	29	24	160	2	2	1
大分	109(112)	55	8	8	8	11	9	11	55	2	2	1
沖縄	137	23	6	4	3	4	3	3	23	1	1	1
宮崎	121	59	9	8	12	9	12	9	59	2	2	1
熊本	157	76	13	12	15	12	11	13	76	1	1	1
鹿児島	183	183	31	31	30	30	30	31	183	1	1	1
計	1,264	667	110	111	112	112	112	110	667	12	12	8
分科会割当			鹿児島	佐賀	宮崎	大分	宮崎	長崎				
			沖縄	福岡	熊本	佐賀	福岡	大分				

14 全体会・分科会等会場について(城山ホテル鹿児島各会場)

会議等名	会場	会議等名	会場
常任幹事会 26日 14:30~15:20	4 F アイリス	受付Ⅱ 28日 9:00~9:30	4 F エメラルドホール前
大会運営連絡会 26日 15:30~17:00	5 F ルビー	全体会Ⅱ 28日 9:30~9:45	4 F エメラルドホール
受付Ⅰ 27日 9:00~9:30	4 F エメラルドホール前	記念講演 28日 9:45~11:15	4 F エメラルドホール
開会式・全体会Ⅰ 27日 9:30~11:25	4 F エメラルドホール	閉会式 28日 11:20~11:40	4 F エメラルドホール
第1分科会 27日 12:50~16:10	2 F クリスタルガーデンA	各控室	
第2分科会 27日 12:50~16:10	2 F クリスタルガーデンB		
第3分科会 27日 12:50~16:10	4 F レインボー	来賓・講師控室 27日~28日 8:00~12:00	4 F オーキッド
第4分科会 27日 12:50~16:10	2 F アメジスト	各県事務局控室 27日~28日 9:00~17:00	4 F カトレア
第5分科会 27日 12:50~16:10	4 F パール	本部・大会事務局控室 27日~28日	4 F ガーネット
第6分科会 27日 12:50~16:10	5 F ルビー	救護室 27日 9:00~17:00 28日 9:00~12:00	3 F フリージア

※ 会場住所：890-8586鹿児島市新照院町41-1

15 参加費

大会参加費 7,000円（大会要録代を含む）

16 参加申込

- (1) 参加希望者は各県の割当にしたいがい、令和8年5月21日（木）までに、次のQRコード、または、URLから入力例を参考に必要事項を入力してお申し込みください。また、参加費については各県事務局が指定した期日までに各県事務局に納入してください。



https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeiov-kFwq7P_yFYboQYz6DC6mVrfqBjmX9cmdGTe0DzR5CpQ/viewform?usp=preview

〈入力項目〉

- ① 県名 県名を選択する。
- ② 市町村名 市町村名を入力する。
- ③ 学校名 学校名を入力する。 ※ 市町村立は記入しない。
- ④ 氏名 氏名を入力する。 ※ 姓と名の間は、全角スペースを入れる。
- ⑤ ふりがな ふりがなを入力する。
※ ひらがなで入力し、姓と名の間は全角スペースを入れる。
- ⑥ 外字の有無 有・無 のいずれかを選択する。
※ 氏名に外字が含まれ、外字での表記が必要な方は「有」を選択し、大会（鹿児島県）事務局に別途（外字が認識できる）PDF添付メールにてお知らせください。
- ⑦ 分科会 分科会の番号を選択する。

- (2) 各県事務局は鹿児島県事務局が取りまとめた参加者名簿の送付（送信）後、参加費を取りまとめて、令和8年5月29日（金）までに、下記口座に振り込んでください。

【大会事務局】

〒890-0056
鹿児島県鹿児島市下荒田4-32-13 （鹿児島県校長会館）
鹿児島県連合校長協会事務局内
TEL:099-257-9676 FAX:099-257-9679
E-mail:ken-kyoukai@iaa.itkeeper.ne.jp

【参加費振込先】

金融機関 カゴシマシンヨウキンコカモイケン
鹿児島信用金庫鴨池支店
科目 普通預金
口座番号 〇〇〇〇〇〇〇〇 （※通帳作成中）
ゼンキョウシヨウチヨウガツコウケンキョウタイカゴシマタイジムキョウチヨウシメブルチヒロシ
名義 全九州中学校長研究大会鹿児島大会 事務局長 下古立 浩

17 宿泊について

宿泊の斡旋はいたしません。個人でホテル等に直接お申し込みください。

18 会場へのアクセス 「城山ホテル鹿児島」まで

(1) 各種交通機関

ア タクシー

- 鹿児島空港から……………約40分（高速利用）
- 鹿児島中央駅から……………約10分
- 天文館から……………約10分

イ 空港リムジン

- 鹿児島空港から市内各停留所（天文館、鹿児島中央駅、市役所前）まで約40分～約50分
- ※ 各市内停留所からは、タクシー、または、ホテルシャトルバスで会場への移動が必要です。

(2) ホテルシャトルバス

天文館電停前、中央ターミナルビル、天文館、朝日通りの各停留所からの運行時刻表及びシャトルバス巡回マップは、次のQRコード、または、URLから御覧いただけます。

なお、シャトルバスは一般客も乗車し、乗車人数にも限りがあることから御利用の場合は時間に余裕をもって御利用ください。



<https://www.shiroyama-g.co.jp/asset/access/timetable>

(3) 自家用車

城山ホテル鹿児島には駐車場がございますが、台数に限りがあること、また、当日一般客も利用されることから、可能な限り乗り合わせてお越しください。

(4) 城山ホテル鹿児島までの経路

